



市長定例会見

令和3年11月19日（金曜日）13時00分～

- 1 三原市・湯河原町等での広域連携事業について
- 2 その他



三原市長 定例記者会見
R3.11.19

「三原市×湯河原町」・「三原市×品川女子学院」での 広域連携事業が始動！

この事業は、総務省の「多様な広域連携促進事業」に採択されています。



1 目的等

(1) 目的

全国的に人口減少・少子高齢化が進む中，多様化・複雑化する住民ニーズに対応していくためには，様々な主体と連携・補完し合うことが必要となる。

総務省では，「多様な広域連携促進事業」により，こうした課題への対応を検討しようとする自治体を支援することとしており，本市では，この事業採択を受け(令和3年5月)，いくつかの分野において，デジタル技術も活用しながら，離れた地域間であっても連携することが有効かつ効果的な取組を実践し，今後の可能性を探ることとしている。

(2) 総務省からの採択団体・取組

採択団体	取組
広島県三原市，熊本県玉名市	隣接していない市町村間の連携
鳥取県鳥取市	定住自立圏・連携中枢都市圏における取組
三重県	都道府県による補完・支援
京都府舞鶴市	核となる都市のない地域での水平的な連携の取組

2 事業内容①



広島県三原市



神奈川県湯河原町



教育分野 (小学校連携)

三原市立大和小学校（5年生25名，6年生38名）と湯河原町立吉浜小学校（4年生37名×2クラス）両校に共通する課題・テーマを設定し，解決・実践につながる取組を行う。

<テーマ>

- ①ふるさとの良さや課題について，自分なりの考えを持てる子どもを育成する。
- ②児童の表現力・コミュニケーション力を高める。

<取組内容>

全3回のオンライン交流授業を行う。

◁△写真はイメージ

日時	内容
11/25(木)10:30~12:05	大和小 児童たちによる地域や学習内容の発表
12/9(木)10:30~12:05	吉浜小 //
1月中	大和小・吉浜小児童たちによる相互交流授業

2 事業内容②



広島県
三原市



神奈川県
湯河原町



観光分野

三原市・湯河原町の共通文化である「やっさ祭り」について、両市町の実行委員会同士がオンラインワークショップを通じて、連携方策などを検討する。

<テーマ>

持続可能で盛り上がりのある祭りにしたい！

- ・ 祭りへの参加者を増加させる（情報発信含む）。
- ・ 効率的な祭りの運営方策を検討する。

<取組内容>

オンラインワークショップ（日程調整中 ・ 全4回）

<対象>（※参加者は調整中）

三原やっさ祭り実行委員会委員 11名

湯河原やっさまつり海水浴行事実行委員会委員 10名

<外部アドバイザー>

株式会社オマツリジャパン



2 事業内容③



広島県三原市



品川女子学院



教育分野（高校連携）

広島県立三原高校と学校法人品川女子学院とで連携し、様々なデータを活用した地域の未来予測に基づき、地域の課題を把握し、解決に向けた取組について考える。（2年生各12名）

<テーマ>

次世代を担う若者が、①まちの課題に気付き、②解決に向けたまちづくり活動に興味・関心を持つことをめざす。（→地域のことを深く知ることが、愛着や郷土愛の土台に）

<取組内容>

各学校単独での学習授業（第1回～第3回）とオンラインでの相互交流授業（第4回）

授業（※日時調整中）	内容（※いずれも予定）
第1回：デジタルツールの使い方を知る	Google Earthの使い方，テーマ別の指標の説明など
第2回：デジタルツールを使いこなす	地域間比較の方法，デジタルツールを自由に使う
第3回：課題抽出と解決策の検討	興味のある指標を選ぶ，地域の課題及び解決策の検討
第4回：オンライン交流授業	高校間でお互いの成果を発表

※上記に加え、総務省・内閣府からもゲストスピーカーとして授業に参加いただくことも検討中。



広島県
三原市



品川女子学院



<品川女子学院について>

データ分析を活用した高校の授業において、先進的に取組を進めている河合豊明先生が品川女子学院に在籍。東京都品川区に所在，高等部の現員は約630名。

総務省からの事業採択を受け，本市から連携を呼び掛けたところ快諾いただくとともに，河合先生とつながりのある内閣府や大学教員をご紹介いただき，関係者で構成する有識者会議の設置提案があった。

<有識者会議の設置>

三原高校・品川女子学院の各担当教員，総務省，内閣府，大学教員などで構成する有識者会議を設置し，今回の取組について，効果的な進め方や今後の展開方法などについて検討する。

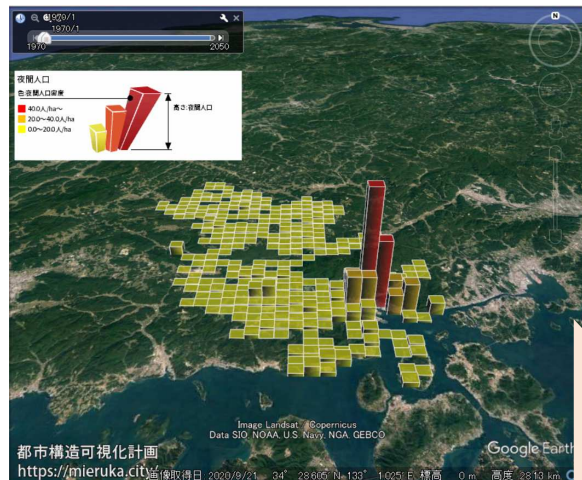
氏名	所属・役職
大熊 智美	総務省自治行政局市町村課 課長補佐
◎河合 豊明	品川女子学院 教諭
紫竹 貴司	内閣府地方創生推進室ビッグデータチーム 参事官補佐
仙石 裕明	Whole Earth Foundation Lead Date Scientist
長谷川 直子	お茶の水女子大学 准教授
山本 大輔	三原高等学校 教諭

※氏名の50音順。◎は座長。

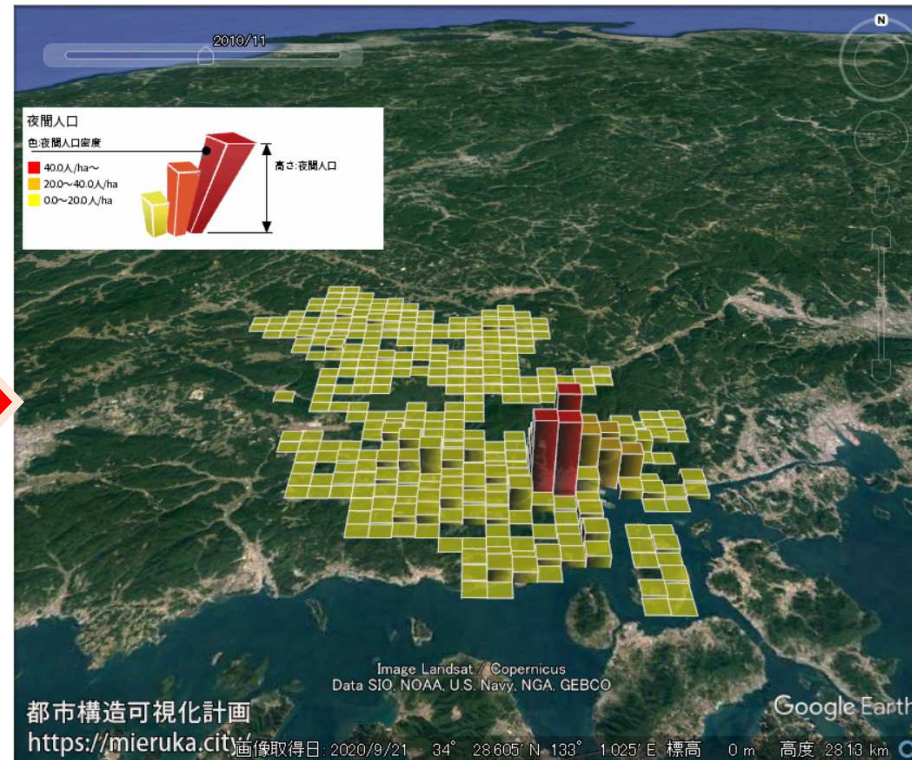


<活用するデジタルツール>

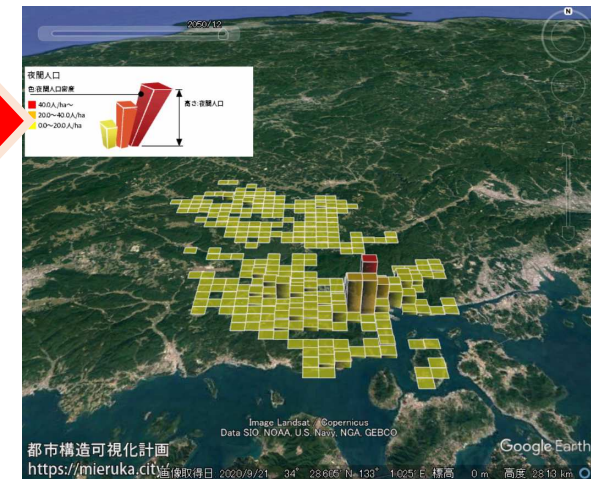
国勢調査や住民基本台帳，公共施設や空き家，公共交通などのデータをGoogle Earth上に重ねて表示するツールを活用する。このツールは，今後の行政施策の検討にも活用していく予定。



1970年



2010年



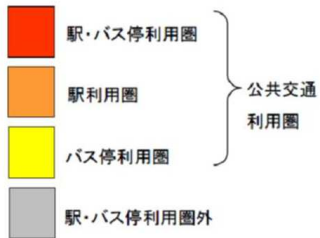
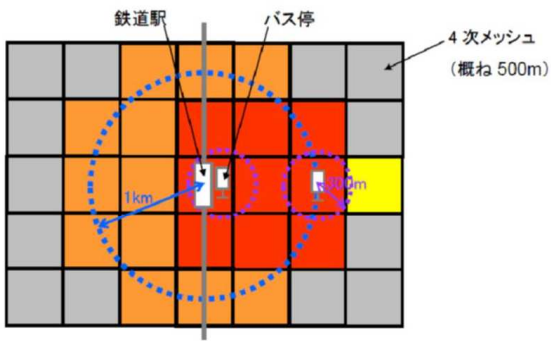
2050年

△データの例（人口分布の経年変化）▷



<分析例 1 >

公共交通の利用圏と人口分布との関係

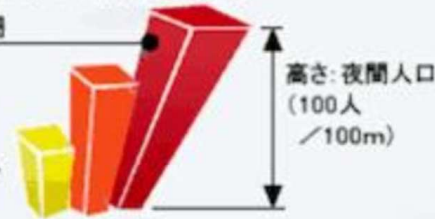
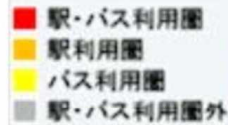


公共交通利用圏の色分けの設定方法

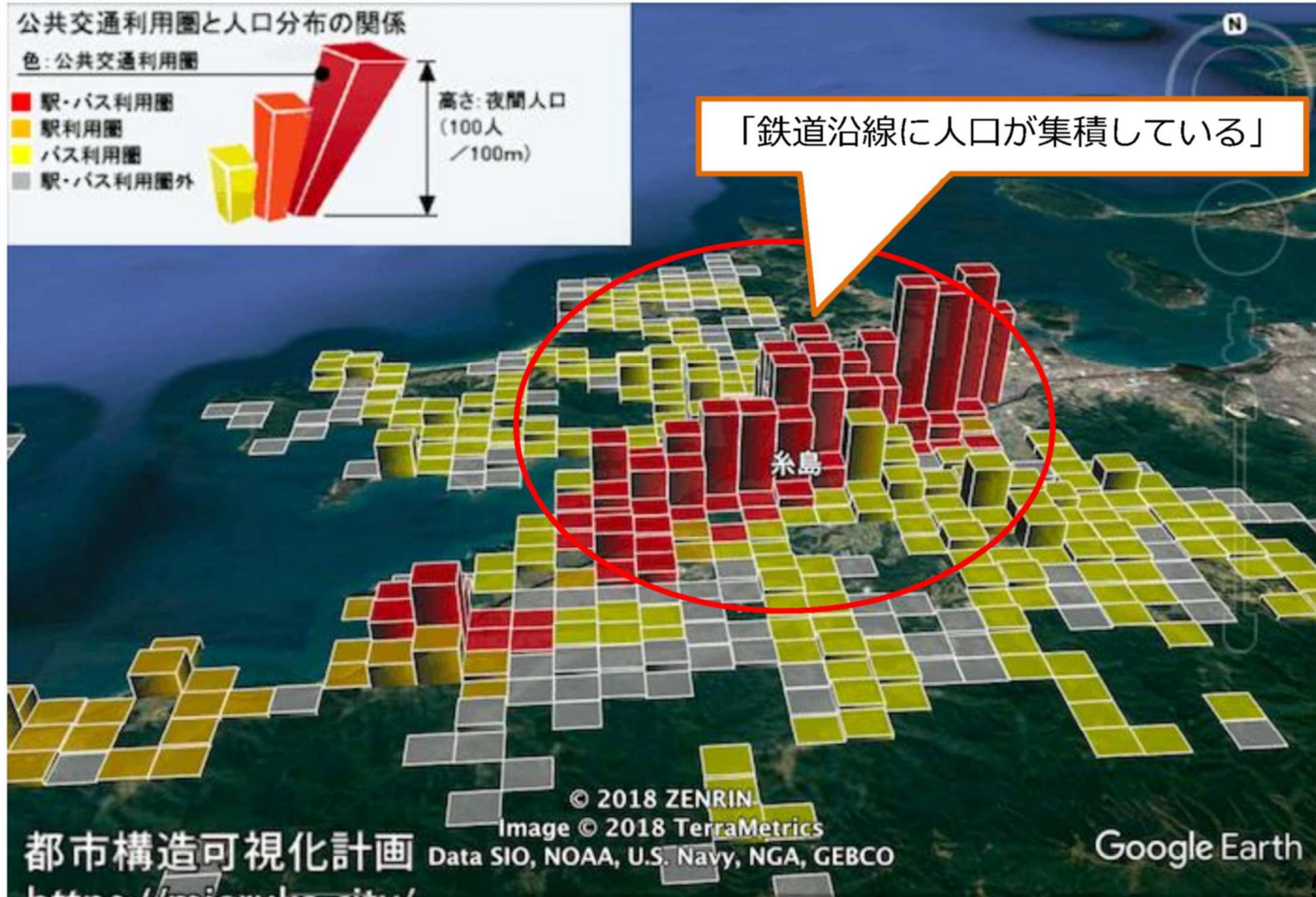
高さ：国勢調査（人口）
色：公共交通利用圏（上図参照）

公共交通利用圏と人口分布の関係

色：公共交通利用圏



「鉄道沿線に人口が集積している」



© 2018 ZENRIN

Image © 2018 TerraMetrics

都市構造可視化計画

Data SIO, NOAA, U.S. Navy, NGA, GEBCO

Google Earth



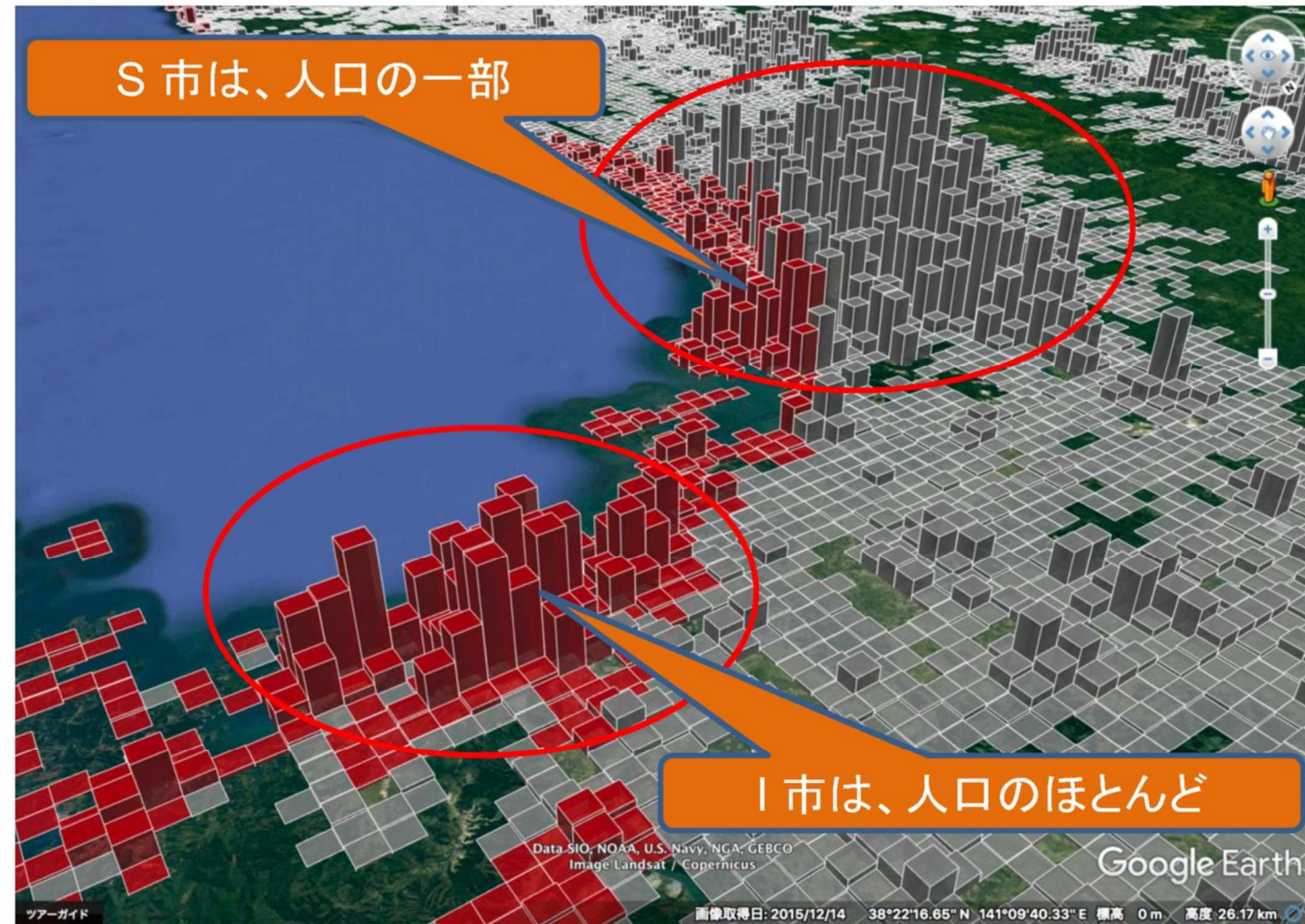
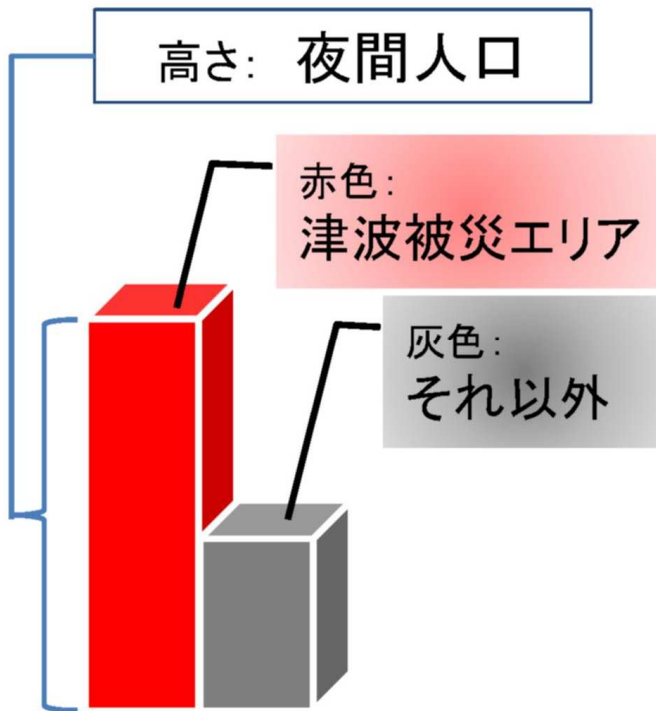
広島県
三原市



品川女子学院



<分析例 2 >





広島県
三原市





品川女子学院



<分析例 3 >



令和3年11月18日


×


令和3年度多様な広域連携促進事業（総務省事業）

大和小(三原市)×吉浜小(湯河原町)のオンライン交流が始まります！

11/25 (木)
10:30~

本市では、総務省「令和3年度多様な広域連携促進事業」の採択を受け、親善都市提携を基盤として神奈川県湯河原町と連携し、離れた自治体間であっても連携することが有益な取組について、その可能性等を検討する取組を進めているところです。

この取組の一つとして「教育」分野において、三原市立大和小学校と湯河原町立吉浜小学校の連携事業がはじまりますのでお知らせします。

1 目的

三原市立大和小学校及び湯河原町立吉浜小学校に共通する課題やテーマ設定し、解決・「実践につながる取組を行い、効果を検証します。

2 テーマ

- ① ふるさとの良さや課題について、自分なりの考えを持てる子どもを育成する。
- ② 児童の表現力・コミュニケーション力を高める。

3 参加者

三原市立大和小学校 5年生 25名・6年生 38名
湯河原町立吉浜小学校 4年生 37名×2クラス

4 事業内容等

月日	時間	対象	取組内容
11/25 (木)	10:30~	大和小：6年	大和小学校が発表 「大和町の自慢やほこり」をテーマに、産業などのグループに分かれて、調べたことや考えたことを発表する。
	11:15	吉浜小：4年1組	
	11:20~	大和小：5年	
	12:05	吉浜小：4年2組	
12/9 (木)	10:30~	大和小：6年	吉浜小学校が発表 「湯河原 再発見！」をテーマに誰もが暮らしやすいまちづくりについて、調べたことや考えたことを発表する。
	11:15	吉浜小：4年1組	
	11:20~	大和小：5年	
1月中	10:30~	大和小：6年	大和小・吉浜小の意見交流会 三原市や湯河原町のこれからのまちづくりについて、意見交換をする。
	11:15	吉浜小：4年1組	
	11:20~	大和小：5年	
	12:05	吉浜小：4年2組	

※1月については日程調整中

5 総務省「令和3年度多様な広域連携促進事業」について

人口減少・少子高齢化が進む中、多種多様な住民ニーズに対応していくためには、様々な主体と連携・補完し合うことが必要となります。

総務省では、こうした課題への対応を検討しようとする自治体を支援することとしており、令和3年度は全国で5件の事業が採択されています。

【問い合わせ先】経営企画課 課長 榎 修司（えのき しゅうじ）
 総合企画係長 清水 逸司（しみず いつし）
 〒723-8601 三原市港町三丁目5番1号 電話 0848・67・6270(直通) FAX0848・64・7111

学校教育課 課長 山垣内 理恵（やまがうち りえ）
 教育指導係 荒木 美花（あらか みか）
 電話 0848・67・6154(直通) FAX0848・67・5912

令和3年11月19日

広島臨空産業団地に野村乳業(株)の立地が決定 ～立地協定調印式 11/24(水) 三原市役所 市長応接室～

1 概要

広島臨空産業団地への野村乳業株式会社の新規立地が決定し、令和3年11月24日に本市において、同社、広島県、本市の三者で立地協定の調印式を行うこととなりましたので、ご案内します。

2 立地企業の概要

企業名	野村乳業株式会社
所在地	広島県安芸郡府中町鶴江二丁目12番27号
代表者名	代表取締役 野村 光男
事業内容	乳酸菌飲料の製造及び販売
資本金	1,000万円
従業員数	16名

3 立地・施設計画の概要(予定)

所在地	広島臨空産業団地 区画4・5(三原市本郷町善入寺字用倉山)
取得予定面積	7,146.06㎡
取得予定金額	95,783,387円
土地売買契約予定年月	令和4年6月
着工予定年月	令和4年10月
操業開始予定年月	令和5年9月
従業員予定数	20人(異動6人を含む)
予定事業内容	乳酸菌飲料(マイフローラ等)の生産設備及び研究開発拠点等を整備し、生産事業及び研究開発事業の拡充や、にぎわい事業(①オリジナル商品の企画販売、②「乳酸菌と発酵を知る」情報の提供、③工場見学)を実施

4 立地協定調印式

野村乳業株式会社、広島県、三原市の三者で立地協定調印式を行う

- 日時 令和3年11月24日(水) 10:30～11:00
- 場所 三原市役所 4階 市長応接室
- 出席者 野村乳業株式会社 代表取締役 野村 光男
広島県 商工労働局長 川口 一成
三原市 市長 岡田 吉弘

